32 巻 2 号　（ 2027.1.10 頃発売予定 発行 12,000部 約 100 ページ B5判 ）

整形外科看護専門誌

整形外科看護　2027.2月号

整形外科でも導入できる！

術後回復を早める看護実践プログラム（仮）

プランナー：北川裕利 滋賀医科大学麻酔学講座教授／日本ERAS学会理事

特集

「ERAS（イーラス）」とは「Enhanced Recovery After Surgery」の略で「術後の回復を高める・強化する」という意味があります。もともとは腹部の手術に対して行われていましたが、そのプログラムは整形外科でも活用できるものです。そこで今回は「整形外科のERAS」について、どのようなプログラムを立てて実践していくかを、疾患（部位）別に解説していきます。事例ベースで「なぜこのようなプログラムを立てたか」の根拠を示し、実践の結果どうなったかを紹介することで、読者の施設でも実践に移しやすくすることが目的です。

Part1. 総論：「科を問わずERASの基本的な内容」を解説

特集1	ERAS（術後早期回復プログラム）とは何か？ 整形外科ではどう活用するか？	杉本正幸　市立長浜病院整形外科 木田英樹　市立長浜病院麻酔科
特集2	整形外科の術後早期回復プログラムにおける看護師の役割とは？	滋賀医科大学附属病院看護部　2C病棟
特集3	整形外科の術後早期回復プログラムにおける麻酔科医の役割とは？	高橋 完　金沢医科大学麻酔科
特集4	整形外科の術後早期回復プログラムを支えるリハビリテーションの役割とは？	久郷真人　滋賀医科大学リハビリテーション部

Part2. 各論：ERASのポイントを患者の特徴別に解説

特集5	人工股関節・人工膝関節置換術を受ける患者の術後早期回復プログラム	横山徳一　大室整形外科
特集6	交通事故患者の術後早期回復プログラム	阪田宗弘　京都第二赤十字病院整形外科
特集7	高齢患者（認知症なし、大腿骨骨折）の術後早期回復プログラム	竹下博志　済生会滋賀病院整形外科
特集8	認知症のある高齢患者の術後早期回復プログラム	高橋 淳　南草津けやきクリニック 宮川正治　南草津けやきクリニック
特集9	患者がスポーツ選手（若年者）の術後早期回復プログラム	小林雅彦　京都下鴨病院整形外科
特集10	術後早期回復プログラムがうまくいかなかったときの評価と立て直し	江藤謹司　市立長浜病院リハビリテーション科

連載

「THA今昔物語」

「病棟から地域包括ケアまで　多職種連携のコツ　全部教えます！」

読者ターゲット

整形外科のナース、研修医、周辺スタッフ

ADポイント

外転枕、サポーター、コルセット、ニーブレイスなどの装具や、整形外科領域のケア製品に対する問い合わせが多く寄せられます。そのほか、患者さんの生活を支えるグッズ（ギプス装着中のシャワーカバーなど）や薬剤についても要望があり、読者である看護師は、ケア製品・薬剤に高い関心を持っています。

広告締切

申込締切日：2026.11.12　版下出版社必着：4C　2026.11.12　1C　2026.11.26　綴込　2026.12.1

広告料（税抜き）

掲載面	刷色	スペース	料金	サイズ（mm）
表4	カラー	1頁	250,000	205×172【断ち切り】
表2	カラー	1頁	230,000	257×182【断ち切り】
表3	カラー	1頁	210,000	257×182【断ち切り】
記事中※	カラー	1頁	160,000	257×182【断ち切り】
記事中	1色	1頁	80,000	220×150
記事中	1色	1/2頁	50,000	105×150
綴込		1枚	100,000	仕上がりに天地左右3mm タテシロありの印刷物

※掲載場所指定は20%増の料金となります（記事中カラーのみ対応）。

取扱い広告代理店

●広告原稿は完全データでお願いします。※広告掲載前に審査がございます。事前に広告内容をお知らせください。
●入稿の際は、広告データ、出力見本（確認用PDF）をご準備ください。
●広告掲載スペースには、断ち切りサイズ掲載可能スペースと、掲載不可のスペースがあります。掲載スペースとサイズをご確認ください。
●企画内容が変更になる場合があります。

◇この内容は、弊社ホームページ内の「掲載可能な専門誌一覧（https://www.medica.co.jp/ad/）」からダウンロードできます。

26O14

発行：株式会社メディカ出版